

## 市民との意見交換会会議録

報告日及び報告者 H26.11.27 根本七太

1. 日時 平成26年10月23日(木)午後6時30分～午後8時30分
2. 場所 岩根地区公民館(和室)
3. 出席議員 次藤 栄、根本七太、渡辺善元、  
伊藤隆一、矢島義謙、國分義之(6名)
4. 出席市民 4名
5. 会議経過

### 【午後6時30分開会】

- ◇ 國分副議長 開会宣言
- ◇ 伊藤議員 挨拶

意見交換会は、皆さんの意見を聞きながら議会に反映させること、行政に伝えることを目的に行っている。進めるに当たり、議員個人についての質問は受けないこと等注意点と留意点などを説明。

(出席議員自己紹介)

### 【報告】

- ◇ 矢島議員  
(議会構成、定例会・臨時会の審議の概要、会派制の導入と政務活動費について報告を行う)
- ◇ 國分副議長  
これより只今の説明に対する質問を受ける。質問する方は、名前と行政区名を言ってから質問に入るようお願いしたい。

### 《質疑 要旨》

問(市民) 今、国政も政務活動費の記載方法で賑わっている。本宮市も政務活動費が出ている。この活動費1人1万円で年間12万円出ている。調査報告書はどちらに提出しているのか。例えばみらい創和会、新風会の方に聞きたい。

答 渡辺議員 私はみらい創和会に所属しているので答える。年1回事務局を経由して議長に提出し、監査を受けている。

問(市民) 提出する、監査を受ける、税金を使うのだから当然である。監査

があって不備の場合その提出先は事務局か、議長か。

答 渡辺議員 事務局を經由して議長である。

問（市民） 監査はどちらでやるのか。

答 渡辺議員 市の監査員である。

問（市民） 監査員が監査して市民の方へ説明しているということか。

答 渡辺議員 間違いがあれば指摘を受けるようになっている。

問（市民） 9月の一般質問で議会傍聴したが、ふるさと納税の質問で、市長はふるさと納税をすることで他の県からお金を取るようになるからふるさと納税は大規模にはやらないといった主旨の話があった。ところがその日の夜のFM本宮を聞いていたら民友新聞の記者が、今日の本宮のニュースとして、本宮はふるさと納税を本格的にやると言っていた。私は反対のような気がしていたが、議員さん達はどの様に捉えているか。私が聞いていたのが間違いなのか。民友新聞社の方が正しいのか。

答 根本議員 その時質問したのが私なので答える。質問した者の感じ方としては、今おっしゃるような感じ方をしたが、市長だけでなくその他担当の秘書広報課で話されたと思うが、その内容を時間をかけて分析すると取り組みについては前向きと捉えさせていただいた。FM本宮もそのような形で放送されたものと認識させていただいている。

問（市民） ふるさと納税について伺う。根本議員の方から大玉村について話があったが一割の税が入ってくるのは大きい。もっと活発にすべきでないか。元々ゼロなのだから一割の半分返しても税収アップに繋がるのではないかと思う。議会でもふるさと納税に積極的に取り組むようお願いしたい。要望である。

◇ 國分副議長 議会への要望として伺った。その他ないか。質問がなければ4番の意見交換会に移る。これからの司会は渡辺善元議員に願います。

◇ 渡辺議員 今回の意見交換会のテーマとして2つ用意している。1つ目は、定住人口増への取り組みについて、2つ目が地域の助け合い、共助についてである。何でも気が付いたら話していただきたいと思う。最初に定住人口増加への取り組みについて何かご意見があればお願いしたい。

問（市民） 市では定住化を進めるに当たってお金を出したりしていると思う。そこで伺うが、定住する方は大玉村とか二本松の方とか近くの方を考えているのか、それとも福島県内や東京からでも来てもらうのか、そこまでは考えなくて近くの方と考えているのか。どうなのか。議員さんは、定住するのは

若者で子育てをする人と言っていたと思うが、大玉村とか猪苗代とか郡山市と言ったところからか、県外からきて欲しいのか、どこまでを考えている定住なのか。

答 矢島議員 執行者ではないので具体的な答弁はしにくいですが、基本的に言えば人口減少を防がなければならない。そう言うことから近くからとか遠くからとか言うより、どこからでも良いから定住していただくと、そのように私は思うがそれぞれの議員も考えを持っていると思う。またこれから一般質問でも取り上げ追求したいと思う。

問（市民） 雇用とお金の面で支援していくことが柱のように感じる。私が本宮に来るときには、私の長男は群馬に住んでいるが長男もここに家を建てようとしていたが原発で止めた。これからは住宅を建てる人に「土地が安いよと言うだけじゃなく、放射能についても安全だよ」といった訴えをして行くべきと思う。土地が安いからではお年寄りはあるが若い人は来ない。本宮は原発放射能は安全だよと訴え、若者が定住できるように取り組むべきと思う。本宮市は安心だよと訴えないと私みたいな年寄りがいっぱい来たら国民健康保険のお金が沢山かかる。若い人が出て行くのは放射能が怖いからであり、みずきが丘からも出て行っている。入ってきている人もいる。だいたいどんな人が入ってきているか分かるか。いわきから避難している人が建てているのである。「本宮市は放射能は問題ない、除染もしっかりしているから大丈夫」と訴えるべきである。安心を提供することで若い人が定住するのではと感じるところである。

答 矢島議員 では只今の件について答える。風評被害については毎回それぞれの議員が対策をどうするのか市当局に質問している。除染を積極的に進め本宮市の安全と安心をどのように理解していただけるか、日常活動の中で取り組んでいる。

問（市民） しつこいようだがここにはいない会派の問題で、会報の中に住宅造成地の放射能除染しっかりやっているよと言った内容も入れたらと思う。

答 根本議員 人口増対策に私も取り組んできた。私が言っているのは、小中高と地元で生まれ育って、せっかく知識を養ったのに働く場所がなく地元に残れない青年、本宮市はインターを利用する運送業が多く雇用創出にいたっていない。人口増は外から入ってくるのも重要だが、地元で育った若者が地元ふるさとを愛し定着する定住施策が必要と思う。

答 國分副議長 先程の件、新風会の会報かも知れない。私が新風会なので話すとして、放射能対策することは大変重要である。これからの会報作りに参考とさせていただく。幼稚園の無料化など若い人に来てもらうため本宮市もやっている。

答 伊藤議員 まるっきり提案していないわけではない。私は農業委員会に所属しており、市の方にも定住人口増やす為に、市の方で住居地を示して欲しい。中心市街地の外とか内とかバラバラにやっていると駄目。市で住宅団地を作ってやるべきではないか。それについて市からの回答は来っていない。市が積極的に住宅地造成を進めればもっと人口が増えるのではと思う。せつかく東北で住み良さランキング1位、2位なのでもっとその辺のPRをしっかりとやっていくべきと思う。

問 (市民) みずきが丘に定住し、市の人口も増加している。このみずきが丘のアクセス道路良くない。もう少しスムーズなアクセスを考えていただいて、あれだけの大きな団地になったのだから、国や県の支援をいただきながらもっと住み良い整備をして欲しい。

問 (市民) 旧白沢村と旧本宮町の人口比率について聞きたい。

答 根本議員 正確な数値ではないが、おおよそ旧白沢が約8千人、旧本宮町が2万4千人合わせて3万2千人と認識している。

答 伊藤議員 みずきが丘アクセス道路について、民間が開発した団地で市がやってないためアクセス道路ができなかった。個人の道路を市道に格上げしたりその中の道路に段差が生じたり苦労した。排水なども含め市は苦労しているのかなど、また家畜市場の方も広くさせていただいた。今度はできれば家畜市場の方も県の家畜市場もかかってくる。本宮二中との関わり、県道との関わりも出てくる。みずきが丘は人口大分多くなったのでアクセス道路について我々も考えなければと思っている。

問 (市民) 私は旧白沢地区だが五百川駅に関心があるのでこの会場に参加させていただいた。旧荒井村のままで五百川駅はある。みずきが丘の人口も増加しているのだから五百川駅は見直さなければならぬ。アサヒビールには弾丸道路みたいな立派な道路はあるが、踏切など昔のままで改善が必要と思う。その辺を議員はどのように考えているのか聞きたいし話し合いたい。

答 矢島議員 私も再三五百川駅の件では意見を申し上げている。その他の議員も言っている。私も糠沢なので五百川駅を利用することがある。駅の駐車場が狭い、駅舎内が暗い、道路が狭いなど問題も多い。特に車が止められないとの地域住民からの苦情も聞いている。それらを代弁するように私達も言ってきた。少しずつ気運も高まってきた。本宮駅同様五百川駅もアクセスを考え取り組んで行くべきとこれからも市へ提案していく。五百川駅の発展なくして本宮市の広域的な発展はないと考えている。これからも議員それぞれと力を合わせ取り組んで行きたい。ご理解いただきたい。

問 (市民) 私ばかり言うのは悪いが、本宮市の自主的財政健全化計画の中で32年度においては金もなく五百川駅は改善できるのかどうか、皆さんはど

う考えているか。

答 矢島議員 そのようなことには私達も懸念を持っている。だから再三同時進行といった形をお願いしている。私も今特別委員会の委員長をしているから市当局にも本宮駅には多額の金額がかかるので、色々と提案させていただいている。質問いただいたことにはこれからも研究調査を重ねながら市民の方々の声をしっかりと聞きながら対応していく。あとは執行部の考えもあるが政策が課題である。

問（市民） 本宮駅の概略の予算はいくらか。

答 矢島議員 再度申し上げます。これまで一般質問をしている。記録も残っている。ここは大変長い説明になるので簡略に説明する。色んな展開をしている。将来に禍根を残さないために特別委員会でも活発な意見がだされ協議、執行部に提言している。ご理解いただきたい。

問（市民） 本宮駅にどのような金額がかかるのか。27億円とか原案は出ないのか。

答 矢島議員 現在は素案なので特別委員会で議論している。特別委員会を結成したということは、固い決意の思いで作っている。私達も執行機関ではない、チェック機関なのでしっかりチェックして参るのでご理解いただきたい。市の方へは度々資料を求めている。

問（市民） 私がみずきが丘に住んで、実際会津から来た。この地選んだ最大のもは、東北地方で1番住みやすいから来た。本宮市の人に聞くと聞かない。もっとPRすればと思うが。私がみずきが丘に来て感じる事は、本宮の岩根に住んでいる人で何代も引き継いでいる人と、新しく入ってきた人では考えが違う。生活の様式、考え方が違う。岩根地区の人では、こんなことはしてならないと思っても、みずきが丘の人はそれでも良いのではないかと云ったようにそれぞれ価値観の違う人なのである。定住するからと言って人数が増えるとか良い面だけがあるのではなく、新しく入ってきた人は、元々いた人のようになれるかと言ってもそれは無理、その辺を良く知っておく必要がある。岩根は百年以上の歴史がある。私は寿大学に行ってじいちゃん婆ちゃんの話を知ると、戦争に行って弟が亡くなったと言っている。だから歴史がある。しかし、みずきが丘は十年くらいの歴史で、定住ということであれば育てるという気持ちでないと駄目、ゴミが捨ててあっても「それくらいは良い」といった考えの人もある。また、子ども達の教育においてはピリピリし、親が学校に行くと爆発することも聞く。だから定住化促進は必要でも問題が多いことも考える必要がある。良いこと七割、悪いこと三割と思うべき。ある時、本宮市の固定資産調べに来た人に、「私達たいした税金払いなくてすみません」と言ったら「本宮市はアサヒビールが払ってくれるからあまり

心配しないで下さい」と言ってくれた。「安心しました」と言っておいた。

- ◇ 渡辺議員 定住人口増に関してはこのくらいにして、2つ目の共助について意見交換したいと思う。この件については、今年春の豪雪で皆さんに大変ご迷惑をおかけした。地域の方々の共助によることで乗り切られたとお聞きした。これからの時間、共助についての意見を伺う。

問（市民） 本宮市も除雪体制を取っているところだが、主に建設業さんをお願いしていると言う感じ方をしている。広い道路を一日でやってくれということは、地域住民としてそこまで口に出せるものではない。本当に「自分の地域は自分でやる」といった気持ちがないと除雪は大変と感じている。まず幹線道路というと地元の人がトラクターにバケットを付けてやっていただいている。しかし、学生が通る通学路というと手が届かない。それでも幹線道路が終わると歩道もやってくれている。今後は、今回の体験を生かしある一定の協力していただける人をお願いする。組織作りをどうするかだと思う。

答 伊藤議員 今回は、各小学校に除雪機一台を設置し子ども達の安全を図る。それから各行政区に4万円助成した。

答 次藤議員 豪雪のため除雪が遅れた。皆さんが持っている重機や農機具で協力していただいた。これまでも同じような経過であった。今回ガソリン代を出したらどうか。行政区に何人出たかで助成金をなど多々意見が出たが、今までボランティアでやられた人から、「今まで頂いていないので良いのでは」と言ったお話や、万一事故が起きた際の保険はどうなるのかなど問題はある。こうしたことから皆さんの考えを聞くためにテーマを設けた。

答 伊藤議員 今協議中なので皆さんの意見を頂きながらまとめていく。

問（市民） 岩根小の東側で一人暮らしが5軒ある。孤立してしまい大変である。何年か前には熟練した人が除雪やっていたが、今は技術が低いのか除雪中に側溝にタイヤを入れてしまったり、路肩から外れたりして動けなくなったケースも見られた。除雪が進まなかった理由にあたるのではないかとと思う。今回を教訓に役所も業者もオペレーターの技術向上に努めるべきと考える。

問（市民） 私会津から来たのだが、会津はポールを立てたり、このくらいの雪はあまり心配しない。この地域の人は大騒ぎをする。雪は、3、4日過ぎると溶ける。雪の沢山降るところは「春には溶ける」といった気持ちで生活している。市長さんが「農家の人協力を得て難を逃れました。本当に互助の精神に感謝している」と言っていた。会津の人は雪を決して道路に出さない。この辺の人は道路に出す。この辺も問題かも知れない。

◇ 渡辺議員 この辺でこのテーマを終了し、その他の件であれば伺う。

問（市民） 除染の件で伺う。10月2日の新聞に出ていたが、8,820戸のうち発注が3,560戸、実施したのが2,444戸、全体の30%くらいしか出来ていないが、平成27年度中に全て終了出来るのか。また、本宮市の作業員は県外の方が多いのか。二本松市のコンビニに朝行った時、大手ゼネコンの作業員が沢山いた。県外ナンバーの除染作業員と思ったが本宮市も同じように多いのか伺いたい。

答 國分副議長 住宅除染については、27年度に全て終了することが市の方針であり、請け負っている建設業組合も出来ると言っている。仮置き場も問題であるが、荒井、青田は現在協議中、その他はある程度決定しているので設計に入れば進むと思う。

答 根本議員 作業員について答える。本宮市は、地元業者へ発注しており、工期的に厳しい場合、地元業者の下請で市外業者の作業員が作業している現場もある。

答 伊藤議員 損壊部分の修繕だが、業者がつかめない状況である。仕事が沢山あって安い仕事や現場の悪いところは取らないといった状況で市でも四苦八苦している。

問（市民） 和田、長屋地区の除染終了後、放射能の数値減数率分かれば教えていただきたい。

答 渡辺議員 私は長屋なので長屋地区について答える。和田の次に除染が終了し、仮置き場に全てストックしてある。基準の0.23より低く生活しているとは問題ないと思っている。確かな数値については手元に資料が無いのでお答えできない。

答 根本議員 私は和田地区であるが、仮置き場については全ての除染トンパックを一カ所に集積するため当初は数値が上がるのではと大変心配した。ところが基準値の0.23から遥かに低く0.019とかである。また個々の住宅地についての数値は把握していないので答えられない。

問（市民） 岩根小は学校敷地内に除染トンパックを埋めてある。安全安心の為、岩根地区の仮置き場が出来た際に移動できないのか。

答 次藤議員 他の小学校でも全て敷地内に埋めて対応している。校庭に保管されているので安心できると思う。

問（市民） 私は9月議会の傍聴をした。女性は議会も1人、答える執行部も教育長1人だった。答える方で半分とは言わないが三割くらい女性になるように働きかけて欲しい。去年とか一昨年は女性が座っていたのか。教育長は

特別職だから国で女性が輝くと言われているのだから半分とは言わないが3割くらい女性になるよう努力していただきたい。今日の新聞に女性にアンケートしたら「輝くという政策は迷惑だ。それを口実にもっと働かせるのではないか」と言っていた。

答 矢島議員 女性についてその声は分かる。しかし、実際執行するのは市長である。現在課長クラスには女性がいる。その課長が部長になるのか否かは色々な要因もあるし、適材適所や能力の問題もある。働いてみないと分からない問題である。

答 根本議員 女性議員増やすことには当然、国もそのように動いているので議会も増やしたい方向で考えている。しかし、女性の「やる気」にかかっているので今すぐ実現は難しい。しばらく時間が要るのではというのが現状。

問（市民） 議員が次に出る人女性を育てることが必要かと思う。女性でやってみたいという女性がいれば是非育ててほしい。女性が増えることでもっと本宮市が輝いてくるのではないかと思う。

答 渡辺議員 女性答弁については、3月の予算委員会、9月の決算委員会に課長答弁がある。課長職には女性がいるから是非その時に傍聴していただきたい。本会議は部長次長職なので今のところ女性はいない。

答 根本議員 女性の活躍については私達議会でも考えている。女性の中でやる気のある女性がいれば育てたいと考えている。しかし、誕生までは少々時間を要するかも知れない。

問（市民） そろそろ終わりの時間ということで、議会の方が我々市民と話し合おうと言うことで去年からやっていただいているが非情によいことである。これからも3年4年と続けていってほしいと思う。

答 國分副議長 議会活性化検討特別委員会で今回まで実施しているが、来年以降特別委員会はなくなる。来年以降については議員改選もあるので、今後について続ける方向で行きたいと思う。

◇ 渡辺議員 その他なければ時間になったので意見交換会について終わらせていただく。

◇ 伊藤議員 長時間にわたり感謝申し上げます。いただいたご意見を集約しながら行政に届けたいと思う。また、議会で検討しなければならない案件についてはしっかり詰めて行きたいと考える。皆様方の為に一步一步前進できるよう努力する。以上で終了させていただきます。

【午後8時30分閉会】